

夏かき産地育成事業の取組状況について

1 要旨・目的

夏場に出荷できる産地を育成するため、県東部地区における生産技術を確立し、作業効率や利益率を高めることにより、生産規模の拡大を推進する「夏かき産地育成事業」の令和3年8月末時点の進捗状況を報告する。

2 現状・背景

近年、オイスターバーやかき小屋など、新たなスタイルでかきを楽しむ食文化が生まれたことで、夏場の生食用かきの需要が高まっているが、中西部地区のかき生産・出荷時期は、秋から春であり、夏場に生鮮かきを提供することができていなかった。

平成30年度から、東部地区において夏場に出荷できる三倍体かきの養殖を行っているが、規模拡大や品質向上といった課題があるため、東部海域に適した生産体制の確立に向けて取り組んでいる。

3 概要

(1) 対象者

県東部地区の夏かき生産者（田島漁協，横島漁協）

(2) 事業内容（実施内容）

ア 県東部地区に適した夏かき生産技術の確立



耐久性の高い素材を使用した試験筏2台を設置し、漁場をより立体的に活用した養殖を実証。

イ 夏かきの品質向上に向けた取組



新たなバイテク種苗（既存の三倍体かきとは生産方法が異なる三倍体かき）による試験生産を行い、倍化率及び身入りの改善を調査（筏2台分）。

(3) スケジュール

今年度は、5～6月に既存の三倍体かき種苗と新たなバイテク種苗を導入し、7月に作成した2台の試験筏に本垂下した後、かきや養殖環境等の調査分析を実施しており、概ね予定どおり進捗している。

次年度は、生産技術の改善を図りつつ、夏期に出荷サイズとなったかきについては、品質を確認するため、倍化率及び身入りを調査する。

(4) 予算（一部国補）

10,000 千円

(5) 今後の対応

引き続き、養殖試験を実施することで、東部地区の生産技術や品質の向上を図り、増産を進めることで、夏かきを中心とした安定した産地の形成を目指す。